



児童生徒体験教室

7月23日(月)～25日(水)に、社会、英語、算数・数学、理科の児童生徒体験教室が教育センターで行われました。講師の先生が、この日のために工夫した教材を準備し、参加した延べ約200名の児童・生徒たちは、それぞれの教科の楽しさに気づきました。



車座で英語の授業

また、7月25・26日(水・木)には、中学2年生を対象に救命講習会が開催され、参加した約30名の生徒は、消防隊員から心肺蘇生法やAEDの使い方の指導を受けました。実際に人形を使った講習の後には、「いざとなったら習ったことを生かします」などの意欲的な感想も聞けました。

小中学生英語サマーキャンプ

7月25日(水)～27日(金)に、入間市青少年活動センターで、「狭山市小中学生英語サマーキャンプ」が開催されました。



児童5人に1人のALTがついて、コミュニケーションを図りながら、フィールドワークやキャンプファイヤーなど、すべて英語で取り組みました。25名の参加者たちは、3日間のキャンプ生活の中で学んだことを生かし、最終日には保護者を前に英語で発表会を開くことができました。

さやま学力向上プロジェクト

「夢チャレ学習会」

市教育委員会では、参加した子ども達が「楽しかった」「分かるようになった」と大変好評だった「夢チャレ学習会」を、昨年度に引き続き実施しました。今年度も、小学校算数の基礎的計算力の向上に焦点を絞り、小学5年生の希望者を対象に、地域の学生やボランティアなどの協力を得て、8月22日(水)から24日(金)に教育センター、入間野小、奥富小、水富小で行いました。



見て見て、私も上手にできるよ

8月28日(火)／子どもマジック教室(勤労福祉センター)

夏休みの最後に集まった子ども達17名が、3種類のマジックに挑戦しました。準備は難しいけれど、コツをつかんでくると…一流のマジシャンに大変身！



光で羽ばたくカモメを作りました

8月19日(日)／ソーラーカモメ製作教室(博物館)



太陽光を電気に変えてモーターを動かす仕組みを利用した工作教室が開催されました。親子40組が工作をとおして太陽光発電を楽しく学びました。

狭山の今昔物語

Vol.17

—入間川市街地の道路標識—

昭和30年代前半から増加傾向にあった交通事故に対し、市内ではさまざまな事故防止策が立てられました。その第一弾として38年に導入されたのが、入間川市街地での速度40km規制で、同年春には道路標識が改められ、「読んで判断する」ものから「見て判断する」現在の標識へ変わりました。



約200mおきに立てられた40km制限の旧道路標識(昭和38年)



横断歩道と信号機、道路照明灯も整備されています(下諏訪バス停付近)

古きよきパリの町並みが狭山に

8月21日(火)～26日(日)／本澤敏夫ドールハウス展(市民センター)

7月にオープンした市民センターで、本澤敏夫さん(TVチャンピオン第1回日本ドール作家選手権優勝者)のドールハウス展が開かれました。鑑賞に訪れた来場者は、精巧に作られた作品の数々に感心するとともに、夢にあふれた世界を楽しんでいました。また、8月21日(火)から23日(木)には、本澤さんの指導により、延べ33名の皆さんが簡単なドールハウス作りに挑戦しました。



作品の一つ一つから作者の思い入れが伝わりました



たとえ小さくても、でき上がった作品にはそれぞれの個性が盛りだくさん！

調理器具の大きさにビックリ

8月22日(水)／入間川学校給食センター施設見学会

ふだん入ることのできない学校給食センターの施設見学会が開催されました。大きな調理器や洗浄機などに、子ども達は興味津々。ペットボトルを使った調理疑似体験では、自分の背丈以上あるしゃもじを動かし、調理の大変さを体で感じました。



すべてが新鮮で子ども達は大喜び！

ひとまち写真館

あなたが写っていませんか？広報さやまに掲載した写真は、広報課で撮影したものでしたら無料で差し上げます。広報課までご連絡ください。

暑くてもひまわりは元気いっぱい

8月18日(土)～26日(日)／ほりかねのひまわり畑(堀兼地区)

今年は天候に恵まれ、大きさや色の違う3種類(ハイブリッドサンフラワー、バレンタイン、ソニア)のひまわりがきれいに咲き揃いました。暑い中、ひまわり畑を訪れた人たちは、ひまわり回廊や見晴らし台で写真を撮ったり、花が小さめのソニアなどの摘み取りを楽しみました。



一面のハイブリッドサンフラワー

茎を長めに切るのが摘み取りのコツです

お父さんとお料理するのは楽しいね

8月19日(日)／夏休み／パパとチャレンジクッキング(狭山台公民館)

日ごろ仕事で忙しいお父さんと一緒に「パリパリ餃子作り」にチャレンジしました。お父さんとおしゃべりを楽しみながら、野菜を切ったり、具材を混ぜたり、「餃子の焼き上がりは音を聞いてね」と先生の指導でおいしい餃子ができ上がりました。



餃子の具包みをお父さんと競争！どっちが早いかな？